

「英語 I」学習指導案

山形県立楯岡高等学校
教諭 柴田 まり

1 日 時
平成24年2月15日(水) 第5限(13:45～14:40)

2 学 級
普通科 第1学年2組(36名)

3 学 級 観
英語学習に対する関心は比較的高い生徒が多いが、英語で自己表現することについてはやや消極的な姿勢も見られる。しかし、ペア・ワークやグループ・ワークを通してリーダーシップを発揮できる生徒が育ってきており、入学当初と比べて、より積極的に言語活動に参加している様子が見える。

4 教 材
(1) 教科書 POLESTAR English Course I (数研出版)
Lesson 7 Ono Yoko : The World's Most Famous Unknown Artist

(2) 副教材 「高校生のための初めての英語ディベート」(S.A.D.Works)

5 単元の目標
芸術家として自分の作品を通して世界平和を訴えているオノ・ヨーコを扱った教材を用い、世界で活躍する日本人に関心を持つとともに、「オーラル・コミュニケーション I」で学習したプレゼンテーションの方法を活かしながら、「世界の人々から尊敬される日本人」について自分の考えをまとめ、発表できるようになる。

6 指導計画

指導内容	配当時間
教科書本文にある“Who is the most famous Japanese person in the world?”についてペアで考え、プレゼンテーションを行うとともに、単元全体の導入をする。	2時間 (本時2時間目)
本文の内容理解をパートごとに行う。	8時間
単元で扱われている文法事項を理解し、実際に使うことができるように練習する。	1時間
「世界の人々から尊敬される日本人」についてスピーチを行う。	1時間

7 本時の目標及び評価規準

(1) 目標

ア 単元で扱われている内容に関心を持つとともに、ペア・ワークやグループ・ワーク、プレゼンテーション活動に積極的に取り組む。

イ デリバリーを意識しながら、自分の意見をその理由とともに主張したり、他生徒の発表内容に対して感想や意見を述べたりする。

ウ 他生徒の発表を聞いて内容を理解するとともに、これから学習する単元の概要を理解する。

エ 感想や意見を述べる際に必要となる表現(I think that ... because ...など)の使い方を理解する。

(2) 評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
単元で扱われている内容に関心を持つとともに、ペア・ワークやグループ・ワーク、プレゼンテーション活動に積極的に取り組んでいる。	デリバリーを意識しながら、自分の意見をその理由とともに主張したり、他生徒の発表に対して感想や意見を述べたりすることができる。	他生徒の発表を聞いて内容を理解するとともに、これから学習する単元の概要を理解することができる。	感想や意見を述べる際に必要となる表現（I think that ... because ...など）の使い方を理解している。

8 本時の展開

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な 評価の観点	評価 方法
7分	1. Warm-up -ペアで「人物当てクイズ」	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に示された人物について、黒板を見ることができない生徒が英語で質問をし、パートナーからの解答を頼りに人物名を当てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動例を示す。 		
8分	2. プレゼンテーション練習 -パートナーとの発表練習 ("Who is the most famous Japanese person in the world?")	<ul style="list-style-type: none"> ペアになり、パートナーと自分たちが発表するプレゼンテーションを練習する。 プレゼンテーションをする際のポイント（声の大きさ、発音、目線、ジェスチャー、ビジュアル・エイドの使用等）に注意しながら、互いにアドバイスをし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「O.C. I」で学習した効果的なプレゼンテーションをするためのポイントを確認させる。 練習後、全体的に不十分な点を指摘して指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで積極的に練習に取り組んでいるか。 (①, ②) 	活動の観察
25分	3. プレゼンテーション -各ペアの発表と相互評価 -グループ内のベストプレゼンター選出	<ul style="list-style-type: none"> 異なるジャンルについて発表する3ペアが1つのグループになり、グループ内でプレゼンテーションを行う。 グループリーダーの進行に従って、各ペアが発表する。発表を聞いた後、聞き手は評価表を記入する。 グループ内のすべてのペアの発表が終わったら、各自がベストプレゼンターを選び、その理由とともに 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の手順を説明し、聞き手の態度についても意識させる。 感想や意見を述べる表現を積極的に使うよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表のポイントをおさえているか。 (②) 発表を聞いて、適切に評価しているか。 (③) 感想や意見を述べる表現を積極的に使っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 評価表 活動の観察

		<p>に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベストプレゼンターの発表内容を思い出して書く。 ・指名された生徒は、自分のグループのベストプレゼンターをその理由とともに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発話をパラフレーズするなどして、クラス全体に理解させる。 	<p>(②, ④)</p> <p>他生徒の発表内容を理解し、英文が書けているか。</p> <p>(③)</p>	ワークシート
7分	<p>4. 全体発表</p> <p>ーベストプレゼンターによる発表</p> <p>ー自分のプレゼンテーションの改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師に選ばれた数ペアが、クラス全体にプレゼンテーションを行う。 ・他の生徒は、代表のペアによるプレゼンテーションや教師のコメントを聞いて、自分たちのプレゼンテーションの改善点を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのプレゼンテーションと比較しながら発表を聞くように促す。 	<p>自分たちのプレゼンテーションの改善点を見つけようとしているか。</p> <p>(①, ③)</p>	活動の観察及び最終発表の観察(後日)
8分	<p>5. 新単元の導入</p> <p>ーオーラル・イントロダクション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明及び“Imagine”を聞き、オノ・ヨーコの世界平和に向けたメッセージを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が行ったプレゼンテーションの内容と結び付けながら導入する。 ・生徒とインタラクションを図りながら教材内容に引き込むようにする。 	<p>教師の質問に積極的に答えているか。</p> <p>(①)</p>	活動の観察